

～Thank you～

谷地南部小学校
校内研究だより
2023. 8. 30
No.10 文責 荒木秀

「今」を「生きる」ということ②

子どもたちが、夢中になるものと出会うヒントになるかもと読んだ本を紹介합니다。1冊目は、奥村裕一監修・あんびるえつこ著(2023)『99%の小学生は気づいていない!? やりたい!のを見つけ方』Z会です。出版社が、塾などを運営する、あのZ会です。「99%の小学生は気づいていない!? シリーズ」として、他にも『課題解決のヒケツ』『お金と社会のミライ』『チームワークのヒケツ』『ウェルビーイングの魔法』等々、出版されています。本のカバーに「未来のために、いま小学生に知っておいてほしい大事な考え方を身につける学習読み物です。」と書かれてありました。大手塾とは言え、単に知識や技能を教えていればいいという時代ではないんですね。



『夢』は目的『仕事』は手段」という章がありました。「なりたい仕事」に就くことが夢になってしまうと、それが叶わないときに挫折してしまうかもしれないことや、「夢（例：みんなを楽しませたい）」を実現できる仕事は1つではないことなどが書かれてありました。「将来どんな職業につきたい?」ではなく、「将来どんな大人になりたい?」なんて質問に変えていかなければいけないのかもしれないかもしれませんね。でも、答えるの難しそう…。

2冊目は、吉田和夫(2015)『なぜ、あの学校は活力に満ちているのか? プロジェクト型経営のススメ』、東洋館出版社です。元教員である著者が、教員の抱える「多忙感」をいかにして解決していくか、自身の実践を元に書かれた本です。その最後の章が『「今」を「生きる」ということ』です。ぜひ、この部分だけでも読んでいただきたいので、裏面に印刷しました。



2つの本から学んだことをまとめます。先行き不透明なこれからの社会においては、どのような職業が存在するかもわからず、どんな職業に就きたいかを無理強いして問うことは意味がない（もちろん、子どもが自発的に夢（就きたい職業）をもっていることは素晴らしいが）。それよりも、今の自分を充実させ、「自分」を更新していくことが、将来の「自分」につながっていく。まさに博士ちゃんたちは、今を充実させていますね。